

強迫症の認知行動療法における 遠隔スーパービジョン

治療効果研究参加者募集のご案内

強迫症は、慢性化、重症化しやすい難治な疾患で、早期介入が必要です。強迫症への有効性が実証されている治療法として認知行動療法（CBT）がありますが、本邦では強迫症に対するCBTを実施できる治療者数が絶対的に不足しており、医療機関を受診してもCBTに辿り着けないまま経過してしまう患者が多数います。

千葉大学では、強迫症に有効なCBTを実施出来る治療者を増やすために、テレビ会議システムを利用した専門家による治療指導（SUPERVISION：SV）の有効性を検討しており、この遠隔SVを希望する治療者を募集しています。

対象となる治療者

これまでに2例以上のOCDのCBT経験がある心理士、
医師、精神福祉士、看護師等

臨床研究の対象に当てはまらない場合や定員を超えた場合に、ご参加頂けないことや、SVに入るまでにしばらくお待ち頂くことがございます。あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

Tel : 043-226-2975

Fax : 043-226-8588

E-Mail : enkakusv.ocd@gmail.com

2020年3月

募集期間

2019年8月～

2022年3月

研究参加期間

週1回30分のSVで
16回程度

SV料金

無料



研究代表者

千葉大学

子どものこころの発達

教育研究センター

教授 中川 彰子